

雑踏警備業務検定（1級・2級）の学科試験及び実技試験の出題範囲及び配点基準

科目 (警備員等の 検定等に関する 規則)	試験 区分	1級				2級					
		判定の基準	1級試験実施基準における出題範囲	出題 数	学科 配点	実技 配点	試験 区分	判定の基準	2級試験実施基準における出題範囲	出題 数	学科 配点
警備業務に関する基本的な事項	学科	警備業務実施の基本原則に関する高度に専門的な知識を有すること。	雑踏警備業務の形態 雑踏警備業務の実施と基本的人権	2	10	学科	警備業務実施の基本原則に関する専門的な知識を有すること。	警備業務の意義と重要性 雑踏警備業務の意義と重要性 警備業法第15条 警備員の使命と心構え	2	10	
		警備員の資質の向上に関する高度に専門的な知識を有すること。	雑踏警備業務検定1級合格者の役割 1級検定合格者と警備員指導教育責任者との関係 部下指導上の留意点				警備員の資質の向上に関する専門的な知識を有すること。	警備員の指導及び教育に関する制度の概要（第21条、第22条、第23条） 礼式と基本動作			
法令に関する こと。	学科	法その他警備業務の実施の適正を確保するため必要な法令に関する高度に専門的な知識を有すること。	警備業法（第1条、第2条、第3条、第4条、第14条、第16条、第17条、第21条） 憲法（人権保障の意味、警備業務の実施に当たって留意すべき権利及び自由、基本的人権の享有、自由・権利の保持の責任と濫用の防止、個人の尊重、集会・結社・表現の自由、通信の秘密、勤労者の団結権、団体交渉権、法定手続の保障、裁判を受ける権利、逮捕に対する保障、抑留及び拘禁に対する保障、住居の不可侵等） 刑法（罪刑法定主義、犯罪の成立要件、違法性阻却事由、窃盗罪、強盗罪等） 刑事訴訟法（現行犯逮捕についての一般的知識） 警察官職務執行法（警察官による避難等の措置についての一般的知識） 遺失物法（全般についての知識）	5	25	学科	法その他警備業務の実施の適正を確保するため必要な法令に関する専門的な知識を有すること。	警備業法（第1条、第2条、第3条、第4条、第14条、第16条、第17条、第18条、第21条） 憲法（人権についての概略的知識） 刑法（正当防衛、緊急避難についての概略的知識） 刑事訴訟法（現行犯逮捕についての概略的知識） 警察官職務執行法（警察官による避難等の措置についての概略的知識） 遺失物法（拾得者の措置等についての概略的知識）	4	20	
		軽犯罪法、道路交通法その他雑踏警備業務の実施に必要な法令に関する高度に専門的な知識を有すること。	道路交通法（第1条、第2条、第10条、第11条、第12条、第13条、第13条の2、第14条、第17条、第25条、第25条の2、第26条の2、第35条、第36条、第37条、第38条、第38条の2、第40条、第41条の2、第43条、第44条、第45条、第76条、第77条のほか、緊急自動車の要件等についての知識） 軽犯罪法（全般についての知識） 民法（損害賠償）				軽犯罪法、道路交通法その他雑踏警備業務の必要な法令に関する専門的な知識を有すること。	道路交通法（第1条、第2条、第10条、第11条、第12条、第13条、第13条の2、第14条、第17条、第25条、第25条の2、第26条の2、第35条、第36条、第37条、第38条、第38条の2、第40条、第41条の2、第43条、第44条、第45条、第76条、第77条） 軽犯罪法（概略的知識）			
雑踏の整理に関する こと。	学科	ロープその他の雑踏警備業務を実施するために使用する各種資機材（以下「雑踏警備業務用資機材」という。）の使用に関する高度に専門的な知識を有すること。	祭礼、花火大会等行事の態様別の警備実施要領 群集の整列を行う判断 群集密度と歩行速度 群集動線の決定要素 群集の誘導、停止及び分断の方法 群集圧力の抑制の方法 緊急の場合の動線の確保	5	25	学科	雑踏警備業務用資機材の使用に関する専門的な知識を有すること。	祭礼、花火大会等行事の態様別の警備形態の特徴 規制広報の重要性及び実施上の留意事項 群集の整列の方法	6	30	
		雑踏警備業務用資機材を使用して雑踏の整理を行う高度に専門的な能力を有すること。	群衆密度の変化に応じた群衆動線の切替え 群衆密度の変化に応じた規制の方法 ロープ等を使用した緊急時の規制の方法				緊急時の人による群集の規制要領 群集の整列の実施要領				
	学科	人の誘導その他の雑踏の整理を行うため必要な事項に関する高度に専門的な知識を有すること。	群集心理の理論と過去の事故事例			学科	人の誘導その他の雑踏の整理を行うため必要な事項に関する専門的な知識を有すること。	群集の性格と群集心理の特性			
雑踏警備業務の管理に関する こと。	学科	雑踏警備業務を実施する場所の広さ、その周囲における道路及び交通の状況その他の事情に関する事前調査を的確に行うため必要な事項に関する高度に専門的な知識を有すること。	実地踏査の意義と重要性 実地踏査実施上の留意事項	1	5	学科					
		その他雑踏警備業務を能率的かつ安全な実施に必要な業務の管理の方法に関する高度に専門的な知識を有すること。	警備計画書及び警備指令書の作成要領 不測の事態を予測した対応要領								
	実技	雑踏警備業務を実施する場所の広さ、その周囲における道路及び交通の状況その他の事情を勘案して、雑踏警備業務の効率的かつ安全な実施に必要な業務の管理を行う高度に専門的な能力を有すること。	警備計画書又は警備指令書の作成要領（警備員の配置計画等）			実技					

科目 (警備員等の 検定等に関する規則)	試験 区分	1級				試験 区分	2級							
		判定の基準	1級試験実施基準における出題範囲	出題 数	学科 配点		実技 配点	判定の基準	2級試験実施基準における出題範囲	出題 数	学科 配点	実技 配点		
人の雑踏する 場所における 負傷等の事故 が発生した場合 における応急 の措置に関 すること。	学科	事故の発生時における警察機関その他の関係機関への連絡を行うため必要な事項に関する高度に専門的な知識を有すること。	緊急連絡の方法と連絡要領 警備本部への追加連絡要領	7	35		学科	事故の発生時における警察機関その他の関係機関への連絡を行うため必要な事項に関する高度に専門的な知識を有すること。	事故発生時の把握すべき事項 警備本部への連絡要領	8	40			
	実技	事故の発生時における警察機関その他の関係機関への連絡を行う高度に専門的な能力を有すること。	警備本部への追加連絡要領				10	実技	事故の発生時における警察機関その他の関係機関への連絡を行う専門的な能力を有すること。				警備本部への連絡要領	
	学科	事故の発生時における負傷者の救護を行うため必要な事項に関する高度に専門的な知識を有すること。	死傷者多数の事故を想定した模擬訓練実施方法 不測の事態の場合の警備員の配置転換の判断 折りたたみ式車椅子による負傷者の搬送要領					学科	事故の発生時における負傷者の救護を行うため必要な事項に関する高度に専門的な知識を有すること。				事故発生時の二次災害防止要領 幼児等要保護者の対応要領 負傷者の搬送要領	
	実技	事故の発生時における負傷者の救護を行う高度に専門的な能力を有すること。	折りたたみ式車椅子による負傷者の搬送要領					10	実技				事故の発生時における負傷者の救護を行う専門的な能力を有すること。	三角巾使用の止血要領 負傷者の搬送要領
	学科	護身用具の使用法その他の護身の方法に関する高度に専門的な知識を有すること。	警戒棒の管理、応用操作及び取扱いの適否 徒手の護身術（応用）					学科	護身用具の使用法その他の護身の方法に関する高度に専門的な知識を有すること。				警戒棒の取扱い 徒手の護身術（基本）	
	実技	護身用具の使用法その他の護身の方法に関する高度に専門的な能力を有すること。	警戒棒の応用操作 徒手の護身術（応用）					10	実技				護身用具の使用法その他の護身の方法に関する高度に専門的な能力を有すること。	警戒棒の基本操作要領 徒手の護身術（基本）
	学科	その他事故の発生時における応急の措置を行うため必要な事項に関する高度に専門的な知識を有すること。	事故発生時の指揮及び警備員の統制要領 パニックを起こさせない誘導広報要領 不測の事態による規制を行う場合の広報要領					学科	その他事故の発生時における応急の措置を行うため必要な事項に関する高度に専門的な知識を有すること。				事故発生時の初動措置要領 現場保存の意義及び実施上の留意点	
	実技	その他事故の発生時における応急の措置を行う高度に専門的な能力を有すること。	不測の事態による規制を行う場合の広報要領 規制を行う場合の迂回路の選定要領					10	実技				その他事故の発生時における応急の措置を行う高度に専門的な能力を有すること。	緊急車両の誘導路確保のための広報要領 不法又は会場管理規程等に違反する行為を認めた場合の禁止広報要領